

東海大学医学部 英語

2022年2月2日実施

	問1	問 2	問 3	問4	問 5	問6	問 7	問 8	問9	問 10	問 11	問 12
1	イ	エ	ア	ウ	ア	エ	ア	ウ	イ	イ	r	ウ
	問 13				1			1	1	1		
	1	2	3	4								
	Т	Т	F	F								
2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	イ	エ	エ	イ	ア	ウ	Н	ア	ア	ウ		
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
3	ア	ウ	エ	ア	ア	ウ	н	イ	ウ	ウ		
1	1	2	3	4	5	6	7	8			-	
4	イ	イ	ア	エ	イ	ア	ア	ウ				
_	問1	問 2	問 3	問 4	G	(1)	(2)	(3)	(4)			
5	ウ	ア	イ	イ	6	ア	ウ	ウ	ウ			
	 (1) こうした文化的差異は、長らく人類学者によってヒトに固有なものであると信じられてきたが、最近の研究により、そうした差異が海洋哺乳動物の間にも存在するということが明らかにされている。 (2) こうした2つの群れのクジラが、遺伝子としては区別できないという事実にもかかわらず、彼らの食餌と行動は、隣接する国々のヒトの場合と同様に、全く似ていないのである。 											
 (1) Plants may not seem to be able to comprehend their surroundings or interact with one another. Actually, they are more responsive to the outer world than they were thought to be. (別解) Plants may be thought not to understand the world around them or communicate with each other. However, in fact, they respond much more than was thought. 												
	 (2) The more scientists can grasp the biological mechanisms in which plants communicate information with each other, the better they will be able to monitor the environmental conditions such as climate change. (別解) As scientists can understand more about biological mechanisms of plant communication, they will be able to take a more careful observation of environmental conditions such as climate change. 											

問1 「第1段落によれば,ソラブジは____」

1

- 正解は、イ「現代の社会においてその業績に関する評価の混乱がある」。この選択肢そのものは若 干わかりにくいものの、第1段落最終文が根拠となる。その1文のおよその意味は「しかしなが ら、彼女の多くの業績にもかかわらず、彼女が晩年に下した判断のために、彼女は今日に至るまで インドの歴史において物議をかもす人物となっている」である。
- 問2 「第2段落によれば, ____」 正解は、エ「学業はソラブジの父母にとってとても重要だった」。第2段落第2文半ばに「彼女の 両親は教育を重視し」たとある。
- 問3 「第3段落内の[1]にもっともよく置き換わるものは以下のどれか」
- 正解は,ア「しかしながら」。前後の脈絡を確認する。第3段落第1文は「1887年にボンベイ大学 をクラス首席で卒業し英文学の学位を取得して,ソラブジは引き続き教育を受けるために英国の大 学で奨学金を受ける資格を有していた」そして[1]を含む文は「[1]ボンベイ大学は,彼女 の性別を理由として彼女の奨学金申請を拒絶した」となる。したがって,ソラブジは奨学金を申請 する資格を得た<u>が</u>,大学側が拒絶したという流れが読み取れて, However が正解となる。
- 問4 「第3段落によれば, ____」
 正解は、ウ「ソラブジの奨学金申請は、彼女が女性だったから拒否された」。問3で確認した第3
 段落第2文に「ボンベイ大学は、彼女の性別を理由として彼女の奨学金申請を拒絶した」とある。
- 問5 「第4段落で,(A)双方の努力はソラブジが を意味している」 正解は、ア「直接出願したこととホブハウス夫妻が彼女を支援したこと」。第3段落第3文に、「オ ックスフォード大学で研究することを決意して、ソラブジは直接サマーヴィルカレッジに出願し た」ということが書かれており、続く第4文に「同時にホブハウス卿とその妻は、インドでしばら く生活したことのある女性教育の強力な賛同者で、ソラブジの苦境を耳にして、ロンドンの新聞で ある『ザ・タイムズ』に公開書面を送って彼女の教育のための基金を募った」と書かれている。下 線部(A)はこれら二つのことがらを指すと考えられる。
- 問6「第4段落の主な目的は_____を説明することである」 正解は、エ「どんな要因がソラブジの思考方法に影響を及ぼしたか」。第4段落最終文に、「ソラブジは、正反対の生きた見本であるにもかかわらず、こうした考え(当時のイギリスで主張されていた、インド人たちは自己を律することができず、女性は男性よりも劣っているということ)のいくつかを吸収し始めた」とあり、ソラブジの思考を規定していった要因が述べられていることがわかる。
- 問7「第5段落によれば、1890年代に」」
 正解は、ア「オックスフォード大学で女性が学位を取得するのは可能ではなかった」。第5段落第2文に「女性は大学では学位を授与されることはできなかったので、彼女は、法学士がないために1893年にインドに戻ってすぐに法律事務所に公式に入ることができなかった」とある。
- 問8 「第6段落によれば、パルダナシンに関して正しくないのは次のうちのどれか」 正解は、ウ「彼らはインド社会の下層階級の出身である」。第6段落第1文が根拠となる。その1 文のおよその意味は「パルダナシンは、主として人里離れた土地にある離宮に暮らす、カースト上 位に位置するインド人女性たちであった」である。

- 問9 「第7段落によれば、ソラブジの仕事は____」 正解は、イ「多くの移動手段の利用を必要としていた」。第7段落第2文が根拠となる。その1文 のおよその意味は「その後の18年間、彼女は列車、船、ゾウを利用して移動したり、籠で運ばれ たりして多くの地方に赴き、そこでは~」である。
- 問 10 「最終段落で, trailblazing に最も意味が近いのは_____である」 正解は、イ「先駆的な」。文章全体を通じてソラブジがインド人女性として初めての業績を成し遂げ てきたことが述べられていることが根拠となる。
- 問11 「最終段落によれば、ソラブジに関して推測されることは何か」 正解は、ア「彼女は自身の政治観によって民衆の支持を失った」。最終段落第2,3文でソラブジが女 性参政権やインドの独立に反対していることが述べられており、第4文でインドの自立が不可能だ とするアメリカ人歴史家の著書を支持したことが多くのインド人にとって最後の一撃となったと述 べられている。つまり、その最後の一撃により、彼女は民衆の支持を失ったことが推測される。そ れが、第5文で述べられている彼女の渡英につながったと考えられる。
- 問 12 「本文のタイトルとして最も適切なものはどれか」
 正解は、ウ「コーネリア・ソラブジは革新的主義者なのか、それとも伝統主義者なのか」。第7,8
 段落では、インドの女性が自由や権利を獲得するために彼女が力を尽くしたことについて述べられているが、最終段落では、彼女が女性参政権やインドの独立に反対していたことが述べられている。第1段落最終文にあるように、彼女が現在 a controversial figure 「物議をかもす人物」となっているのは、この一見矛盾した行動によると考えられる。
- 問 13 「本文に従って, 選択肢の文が正しければ "T"を, 誤りならば "F"をマークしなさい」
 - 「オックスフォード在学中,ソラブジは大学職員から支援を受けた」 正解はT。第4段落第2文に「彼女は、さまざまな大学の学部長を含め、教養と影響力を備えた 支援者たちと関係を築き始め、彼らのおかげで彼女の道が開け、また彼女の人生観が形作られた」 とあり、また第3文にも「彼らのおかげで、オックスフォード大学で女性が学べる科目が英文学 しかなかった時代に、彼女は法律を学ぶことができた」とあることから、これは正しい。
 - 「パルダナシンの生活区は、その配偶者と分けられていることが多い」 正解はT。第6段落第1文に「パルダナシンとは、主として人里離れた土地にある離宮に暮らす、 カースト上位に位置するインド人女性たちであった」とあり、また第2文にも「彼女たちは通例 その地域の統治者の妻でありながら別々に暮らすことが多く、外界とほとんど関わりを持たず、 人目を避けるとばり越しでしか家族ではない男性に話しかけることが許されていなかった」とあ ることから、これは正しい。
 - 3.「法律家としてパルダナシンを支持する取り組みをする間、ソラブジの身は安全だった」 正解はF。第7段落最終文に「女性からの財産相続を望む人々や、場合によっては女性から財産 を奪おうとする人々にとって脅威とみなされたので、ソラブジは活動中に、自身が毒殺されかけ るなど命を狙われたことを政府当局に報告した」とあることから、これは誤り。
 - 4.「ソラブジは自分が生まれた土地で亡くなった」 正解はF。第8段落最終文に「最終的に、ソラブジはまだ多くの友人がいるイギリスへと舞い 戻り、1929年ロンドンに腰を落ち着け、1954年に亡くなるまでその地にとどまり続けた」とあ ることから、これは誤り

2		
	イ	distracting
		ア distraction 名詞「気を散らすこと(もの), 気晴らし」 イ distracting 形容詞「人の気を散ら
		すような」 ウ distract 動詞「(人・注意などを)そらす, 散らす, 紛らす」 エ distractedly 副詞
		「気が散って、気を取り乱して」
		"~ the announcement on the speaker system was <u>distracting</u> ."
		「スピーカーの音声で気が散ってしまった」
2.	I	
		先行詞が schools で空所直後には完全文が続くことから, 空所には関係副詞 where が入る。
		"~ they tended to have attended schools where there was encouragement of mutual support."
2		「彼らは相互支援が推奨される学校には通学する傾向にあった」
3.	工	6
		主文に過去形助動詞 would が用いられていることから, if 節には仮定法が用いられていることがわかる。予想される文内容から if 節内には仮定法過去完了が必要。
		ビルシントの「小さん」「小さん」」「小さん」」「小さん」「小な女。 "I would be at the birthday party right now if I had caught the 3:15 bus to Mansfield."
		「3時15分の Mansfield 行きのバス <u>に乗っていれば</u> ,ちょうど今頃は誕生日パーティーに出席
		しているだろう」
4.	イ	encouraging people to spend
		encourage O to <i>do</i> ~ 「O に~するよう促す,奨励する」
		"~, thus <u>encouraging people to spend</u> money on goods manufactured domestically."
		「~そうすることで、人々に国内で製造された商品にお金を使うよう奨励した」
5.	P	Had you been
		主文に"would have witnessed"とあることから、過去の内容に関する仮定法の文であることが
		予想できる。条件に相当する部分に if が用いられていないことから, 疑問文の語順に倒置した
		ア "Had you been" が正解。
		" <u>Had you been</u> earlier, you would have witnessed ~"
ſ	<u>т</u>	「もっと早く <u>来ていたら</u> ,あなたは~を目撃していただろう」
6.	ウ	more than one quarter of $f_{1} = \int dx dx dx dx dx dx dx$
		more than ~ 「~より多くの」 one quarter of ~ 「~の4分の1」 "~, accounting for more than one quarter of all our English class profits last year."
		~, accounting for <u>more than one quarter of</u> an our English class profits last year. 「昨年の我々の英語のクラスの利益の4分の1以上を占めている」
7.	I	seen
,.		空所を含むコンマ内の部分は副詞的要素であることから、分詞構文であると予想できる。主文
		の主語 "A fresh snowflake" との関係から、受動を表す過去分詞である エ seen が正解。
		"A fresh snowflake, <u>seen</u> under microscope, has ~"
		「落ちてきたばかりの雪片は,顕微鏡で見ると,~を有していた」
8.	P	Such
		<s is="" such="" that="" ~=""> 「S は~するほどのものである, S があまりにもはなはだしいので~」という</s>
		構文に気がつけたかどうかがポイント。倒置によりしばしば < <u>Such is S</u> that ~> という形になる
		ことを押さえておくと良い。
		" <u>Such</u> was the force of the explosion that four of the room's windows were blown out."
0	-	「爆発の力は, 部屋の窓のうち4つが吹き飛んでしまうほどのものであった」
9.	Y	
		"from now on" 「これからは」という表現があること、および文脈を踏まえると、ここでは「意志」を表す ア "will display" 「~を表示いたします」が適切である。イ "will have displayed"
		志」を表すう will display 「~を表示いたします」が適切である。 イ will have displayed は未来完了を表すが、その場合は「(未来のある時点までには)~を表示してしまっているでしょ
		う」という意味になる。エ "will have been displayed" はそもそも「受動」を表すため不適。
		"In response to the feedback ~, our product labels <u>will display</u> more information about from now on."

「~フィードバックを受け,我社の商品ラベルは…に関して今後はさらに多くの情報を表示いたします」

10. ウ are allowed
<allow O to do ~> 「O が~するのを可能とする」 空所直後に目的語に相当するものがないこと
から, 受動態である ウ are allowed が正解。
 "~ companies <u>are allowed</u> to enter into short-term contracts with ~"
 「企業は~と短期契約を締結することが可能となっている」
3

ア <u>innovative</u>

1.	/	milovative		ereative
2.	ウ	vividness	「鮮やかさ」	= intensity
3.	I	beat around the bush	「遠回しに言う」	= hesitate
4.	P	hindrance	「邪魔になる人・物」	= obstacle
5.	P	<u>haughty</u>	「高慢な,横柄な」	= arrogant
6.	ウ	allocation	「割り当て,配分」	= distribution
7.	I	<u>betray</u>	「~を裏切る」	= be disloyal to \sim
8.	イ	to the letter	「文字通りに、正確に」	= exactly
9.	ウ	stumble	「つまずく,よろめく」	= trip
10.	ウ	incessantly	「絶えず,ひっきりなしに」	= constantly

4

- イ 「対話によれば, _____」
 1 つ目の John の発言第2文に "~, tell us how it feels to be in the lead again at the start of the final round, just like last week and on your debut the week before that." とある。この部分から、ジョンが先週も先々週も最終ラウンドまで残っていたことが読み取れる。
- イ 「スティーヴが "a real nail-biter" と言っているが、恐らく彼は_____を意図している」 1 つ目の Steve の発言第4文に "I was never really sure if I was going to win until the very end." とあ り、「本当に最後の瞬間まで勝てるかどうか確信が持てなかった」と発言している。この部分か ら正解の "a suspenseful situation" と判断できる。 nail-biter とは「ハラハラさせる試合や映画な ど」、 suspenseful とは「不安に満ちているさま」を表す。
- ア 「対話によれば、最終問題の形式は____」
 4 つ目の John の発言第4文に "However, there's an <u>additional</u> challenge: during that time, you must <u>also</u> decide how much of the money you've won today to bet." とあり、追加の課題が提示されている。
 よって、この部分とその直前の文から最終問題では15秒という制限時間内に2つのすべきことあると読み取れる。
- 4. エ 「対話によれば, _____だと推測できる」
 2 つ目の Mary の発言第1文に "This is my big chance, but <u>I'm not sure I can catch up</u>." とある。この部分からメアリは追い付けるとは思っていないことが読み取れる。
- 5. イ 「対話によれば,配送料は____だ」
 4 つ目の Ali の発言第2文に "Their rate is flexible; there's a surcharge during peak times like 7:00 or 8:00 PM, but <u>at this time of day, it's 10%</u>." とあり、今注文すれば配送料は10%しかかからないことがわかる。
- 6. ア「ジンはどのアプリを使うことに決めていますか」
 4 つ目の Jin の発言第2文に "I'll go for that one with the first-order discount you were talking about."
 とある。これは2 つ目の Ali の発言第2文 "AbleEats gives customers <u>\$10 off their first order</u>." を 指している。

- ア 「アリの "<u>spring for it</u>." という発言は,おそらくジンが_____することを意味している」
 6つ目の Ali の発言第2文に "That's generous!" 「気前がいいねえ」とある。また直後の7つ目の Ali の発言に "Just kidding. I'll give you my share in cash ~." 「冗談だよ。~現金で払うよ」とあり,アリは冗談のつもりで「ジンがおごってくれる」と述べたことがわかる。 spring for ~ は「~をおごる」という意味。
- 8. ウ 「対話によれば, _____と推測できる」
 3 つ目の Kate の発言に "Jin and I told you we're trying to avoid foods with too much fat and salt this summer." とあり、ケイトとジンは健康に良い食べ物を注文したいことがわかる。
- 5
 - 問1 ウ 「循環論法」について。2 で循環論法の定義を "a logical error in which the conclusion of an argument comes back to ~"「議論の結論が証明されないまま振り出しに戻る論理的錯誤」とした後、1 で "Many people love pizza because pizza is delicious." 「ピザは人気だからピザ好きな人が多い」とそ の具体例を示す。これで、2 → 1 と決まる。次に、4 の "this example" は、1 の "the following example"を指し、3 の "This" は、4 の "'many people love' and 'is popular' essentially have the same meaning"を指すことから、1 → 4 → 3 と決まる。4 で1 に示された例のどこに錯誤があるのか を示した後、3 で論理的に正しい例を示す流れ。よって、2 → 1 → 4 → 3 が正解。
 - 問2ア ある映像の意味の解釈が,前後に流れる映像に影響を受けるという「クレショフ効果」ついて。 2 "experimenting with new ways to edit film"に対応する具体的内容が, "In his most famous experiment, ~"より始まる1に記述されている。また1の"shots of a bowl of soup, a dead child, and a young woman on a sofa"「一杯のスープと子供の遺体とソファーに座っている若い女性の 場面」が,3の"his expressive depictions of hunger, sorrow, and desire"「その役者の空腹,悲し み,欲望の表情描写」に対応している。 また,4の"This phenomenon"は,3"Audiences praised the actor for ~"全文の内容を指す。よって,2 → 1 → 3 → 4 が正解。
 - 問3 イ ロボットがクラウドネットワーク上で頭脳を共有してより高度な作業が可能となる「クラウドロ ボティクス」について。4の"'brains' inside their own bodies"「体内にある『脳』」と、2の"shared brains stored in the online cloud" 「オンラインクラウド上に保存されている共有された脳」とが 4 → 2 の順に対比の関係となっており、またこの 2 の"shared brains"と、1 の"this kind of communal brain"とが対応していることから、4 → 2 → 1 と決まる。次に 3 の"these advantages" は、1 の"robots gain memory, computational power, and the ability to learn collectively" 「ロボットが 記憶領域と、計算力と、集合的に学習する能力を得る」を指すことから、1 → 3 となる。よっ て、4 → 2 → 1 → 3 が正解。
 - 問4 イ アメリカの法制度について。1 では civil law「民法」について述べられている。ここで、3 の "on the other hand" に注目する。これによって、civil law 「民法」と criminal law 「刑法」の 対立構 造の英文であることに気付ける。この対立構造に気付けば、2 にある "A major distinction between these bodies of law"の these bodies of law が civil law と criminal law と分かり、その2 つの法の 大きな差異についての説明が続く。また、この文の中にある "the degree of certainty"の具体的な 説明が後に続くのであるが、最後の4 でそれぞれの法の certainty の度合いが具体的に説明され ている。よって、1 → 3 → 2 → 4 が正解。
- 6
 - (1) ア 空所(1)を含む1 文のおよその意味は、「各バンドは夏のシリーズでチケットを一番売り上げたが、 全16 公演のうち~の公演でもっとも売り上げが低かった」である。グラフから もっとも売り上 げが低いのは "Fall" における "Band W" の公演だとわかり、 "Band W's fall" を選択する。
 - (2) ウ 空所(2)を含む1 文のおよその意味は、「バンド Z は、4 回の公演のうち~でおよそ 6,000 枚のチ ケットを売り上げた」である。グラフから、"Band X"のチケット売り上げが 6,000 枚程度であっ たのは "Fall"、"Winter"、"Spring"の3回であることがわかり、"three"を選択する。

- (3) ウ 空所(3)を含む1文のおよその意味は、「おそらく宣伝が足りなかったせいで、バンドX秋公演の 1階バルコニー席チケットの売れ残り数は、一番売り上げが良かった公演のおよそ~だった」で ある。表から、"Fall"の"First balcony"の売れ残りは817枚であり、もっとも売り上げの良か った(つまりもっとも売れ残りの少なかった) "Summer"の204枚と比べるとおよそ4倍売れ 残ったことがわかり、"four times"を選択する。
- (4) ウ 空所(4)を含む1 文のおよその意味は、「2 階バルコニー席チケットの売れ残り数は~公演で一番 多い」である。表から、"Second balcony"の売れ残りが一番多かったのが"Winter"の1,491 枚で あるとわかり、"winter"を選択する。
- 7

(1) "Such cultural differences have long been believed by anthropologists to be unique to humankind,"
 「こうした文化的差異は、人類学者によってヒトに固有なものであると長らく信じられてきた」

「とはいえ,最近の研究により,そうした差異が海洋哺乳動物の間にも存在するということが明らか にされている」

string~to light> は「~を明らかにする」の意味。ここでは、目的語になる that 節が文末に置かれていて、

bring to light that ~> となっていることに注意する。なお、although 節は、解答例のように前から訳すとよい。

(2) "In spite of the fact that whales from two schools are genetically indistinguishable, ~"

「2 つの群れのクジラは,遺伝子としては区別できないという事実にもかかわらず」 school は「(魚などの) 群れ」の意。 "in spite of the fact that ~"で「~という事実にもかかわらず」の 意。

"~ their diet and behavior are no more similar than those of humans living in adjacent countries."
「隣接する国々に生活しているヒトの場合と同様,食餌と行動は全く似ていない」
<no more ~ than A> で「A(がそうでないの)と同じように~ではない」という否定の表現ができる。
those は "diet and behavior"を指す。 adjacent は「隣接している」の意。

8

(1)	「周りの環境を理解」	understand the world around them / comprehend their environment $ t\!$				
		5 行目~certain harmful chemicals are present in the soil などがその例。1 行目				
		にある表現などを利用したい。				
	「相互作用」	communicate with each other / interact with \sim / have interactions with one another				
		など。				
	「~せず,…もしない」	not~or also 。否定の並列には or を使う。				
	「~と思われるかもしれない」					
		may be thought to $do \sim /$ may seem to (be able to) $do \sim \exists \mathcal{E}_{\circ}$				
	「実は」	in fact / actually など。				
	「以前考えられていたよ	0もはるかに反応している」				
		respond much more than was thought / are still more responsive to the outer world				
		than they were thought $tat \mathcal{E}_{\circ}$				

(2) 「情報交換する生物学的仕組み」

	the biological mechanisms in which plants communicate information with each			
	other / biological mechanisms of plant communication $f_{a} \mathcal{E}_{o}$			
「把握」	grasp / know about など。			
「~できればできるほど,]			
	the more \sim , the better / as \sim more, more			
「気候変動などの環境条件を~監視」				
	monitor the environmental conditions such as climate change / take a careful			
	observation of environmental conditions such as climate variation など。例示を			

表す such as の前は複数形で書くのが好ましい。

講評

1 [長文内容一致]	(標準)	「コーネリア・ソラブジに関する相反する歴史的評価」に関する英文。内
		容,設問ともに特に難しいところはない。しっかりと得点したい。
2 [文法四択]	(標準)	典型的な出題内容で、しっかりと学習していれば得点しやすい。
3 [同義語選択]	(標準)	難しい単語はなく正解を選びやすい。知らない単語も,文脈から選択可能。
4 [会話]	(標準)	前半は「クイズ番組における各回答者と司会者の会話」。後半は「アプリ
		を用いて食事を注文する場面での友人同士の会話」。各設問の選択肢は正
		誤の判断をつけやすいものが多い。
5 [文整序]	(やや易)	指示語や代名詞を判断基準にして答えを出せる設問が多い。
6 [図・グラフ]	(やや易)	データを正確に読み取る力を試す問題だが,特に難しさはない。
7 [和訳]	(標準)	「クジラの生物学的特徴」に関する英文。構造通り素直に訳せる。
8 [英訳]	(標準)	「植物同士の相互作用」に関する英文。文中に利用できる表現はあるもの
		の、文章内容を理解して下線部の日本語の意味を理解する必要がある。

大問構成,問題量及び難易度のいずれも例年並み。目標は70%

